

函館市医療・介護連携推進協議会 第5回会議

日時：平成28年5月17日（火）19：00～

場所：総合保健センター 2階 健康教育室

【次 第】

1 開 会

2 議 事

(1) 部会の設置について

ア 部会の種別と部会長等について

イ 部会の協議事項について

ウ 部会および分科会の運営スケジュール等について

3 その他

4 閉 会

【配付資料】

1 議事（1）部会の設置について

2 函館市医療・介護連携推進協議会 作業部会 団体所属一覧

3 在宅医療・介護連携推進事業の推進（実施状況及び今後の施策等）について ※抜粋

4 函館市医療・介護連携推進協議会・部会 協議スケジュール

函館市医療・介護連携推進協議会 顧問・委員名簿

H28.5.17

(敬称略)

(顧 問)

分野	所属団体	職名	氏名	勤務先	第5回 出欠
1	公益社団法人 函館市医師会	会 長	ホンマ 哲 本間 哲	医療法人社団 本間眼科医院	出席
2	一般社団法人 函館歯科医師会	会 長	タジマ 久士 田嶋 久士	たじま歯科医院	出席
3	一般社団法人 函館薬剤師会	会 長	クマカワ マサキ 熊川 雅樹	あおい薬局	出席
4	函館市病院局	局 長	ヨシカワ オサミ 吉川 修身	函館市病院局	出席

(委 員)

(敬称略)

分野	所属団体	職名	氏名	勤務先	第5回 出欠
1	公益社団法人 函館市医師会	副会長	オンムラ ヒロキ 恩村 宏樹	医療法人社団 恩村内科医院	出席
2	一般社団法人 函館歯科医師会	副会長	イワイ ユウジ 岩井 祐司	戸井歯科診療所	出席
3	一般社団法人 函館薬剤師会	常務理事	ミズコシ ヒデミチ 水越 英通	はこだて調剤薬局 美原店	出席
4	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	支部長	タカハシ ジュンコ 高橋 純子	医療法人 道南勤労者医療協会 道南勤医協 函館稜北病院	欠席
5	道南在宅ケア研究会	幹 事	オカダ シンゴ 岡田 晋吾	医療法人社団 守一会 北美原クリニック	出席
6	函館地域医療連携実務者協議会	世話人	カメヤ ヒロシ 亀谷 博志	社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院	出席
7	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	事務局長	サケモト セイイチ 酒本 清一	独立行政法人国立病院機構 函館病院	欠席
8	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	会 長	ナカムラ キヨアキ 中村 清秋	居宅介護支援事業所 ひなたぼっこ	欠席
9	函館市地域包括支援センター連絡協議会	会 長	マツノ ヨウ 松野 陽	函館市地域包括支援センター厚生院	出席
10	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	会 長	テラダ マサヒロ 寺田 昌弘	社会医療法人 仁生会 西堀病院	出席
11	道南訪問看護ステーション連絡協議会		ホサカ アケミ 保坂 明美	株式会社トラントユイット 訪問看護ステーション フレンズ	出席
12	道南地区老人福祉施設協議会	会 長	サイトウ タダフミ 齋藤 禎史	介護老人福祉施設シンフォニー	出席
13	函館市保健福祉部	部 長	フジタ ヒデキ 藤田 秀樹	函館市	出席

(オブザーバー)

函館市医師会事務局 函館歯科医師会事務局 函館薬剤師会事務局 渡島総合振興局

(事務局)

函館市保健福祉部

議事（１） 部会の設置について

ア 部会の種別と部会長等について

(7) 連携ルール作業部会

部会長 恩村 委員（函館市医師会）
副部会長 亀谷 委員（函館地域医療連携実務者協議会）
副部会長 保坂 委員（道南訪問看護ステーション連絡協議会）

i 退院支援分科会

分科会長 高柳 部会メンバー（函館地域医療連携実務者協議会）
幹事 未定（函館市医師会）

ii 急変時対応分科会

分科会長 恩村 委員（函館市医師会）
幹事 未定（函館市医師会）

(4) 情報共有ツール作業部会

部会長 亀谷 委員（函館地域医療連携実務者協議会）
副部会長 松野 委員（函館市地域包括支援センター連絡協議会）
幹事 未定（函館市医師会）

(5) 多職種連携研修作業部会

部会長 酒本 委員（北海道医療ソーシャルワーカー協会南支部）
副部会長 中村 委員（函館市居宅介護支援事業所連絡協議会）
幹事 未定（函館市医師会）

(I) 函館市医療・介護連携推進協議会 作業部会 団体所属一覧 資料 2 参照

(オ) 部会への新規団体の参加について

- ・ 多職種連携研修作業部会への部会メンバーとしての参加
 - i 北海道柔道整復師会函館ブロック
 - ii 函館鍼灸マッサージ師連携会

論点 部会の構成等について

イ 部会の協議事項について

(7) 国の示す事業項目と、各作業部会の関連について 資料3参照

- i 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- ii 医療・介護関係者の情報共有の支援
- iii 医療・介護関係者の研修

(イ) 具体的な協議事項について

- i 退院支援分科会（連携ルール作業部会） 3 p 参照
- ii 急変時対応分科会（連携ルール作業部会） 4 p 参照
- iii 情報共有ツール作業部会 5 p 参照
- iv 多職種連携研修作業部会 6 p 参照

論点 協議事項について

ウ 部会および分科会の運営スケジュール等について

(7) 各作業部会の第1回会議の日程の予定について

- ・ 退院支援分科会（連携ルール作業部会）
 - ・ 情報共有ツール作業部会
 - ・ 多職種連携研修作業部会
 - ・ 急変時対応分科会（連携ルール作業部会）
- } 6月下旬から7月上旬
～ 7月から8月
(部会メンバー確定後)

(イ) 開催頻度について ～ 概ね2ヶ月に1回を予定

(ウ) 協議会と部会のスケジュールについて

- ・ 原則、部会の進捗状況等に合わせて、次回協議会の日程を設定
- ・ スケジュールの目安 ～ 資料4参照

(I) 部会連絡会議について

- ・ 各部会で相互に横断する内容について、共通認識を持つため、適宜、正副部会長および分科会長が協議する機会を設ける。

論点 運営スケジュール等について

○退院支援分科会（連携ルール作業部会）で今後協議いただきたい事項

1 アンケート調査結果の概要

「退院支援・調整について」

- (1) 退院支援・調整のルールの統一化などのあり方
- (2) 退院前カンファレンスの参加拡充
- (3) 患者，利用者および家族への丁寧な病状説明
- (4) 主治医等医療関係者との連携強化
- (5) 医療・介護双方向の情報提供のあり方

2 アンケート自由記述について

(1) 具体的なコメント例

- ・ 退院時の連絡，調整
- ・ 入院時の調整
- ・ カンファレンスの必要性，あり方
- ・ 連絡・連携体制
- ・ 患者・利用者家族との関係
- ・ 退院支援窓口，担当の不存在
- ・ 医療関係者の介護知識，スキル，認識不足
- ・ 医療機関ごとの介護に対する認識の格差
- ・ 医療・介護の役割の別の認識
- ・ 医療・介護の垣根，温度差
- ・ 介護関係者の医療知識，スキル不足
- ・ 医療系ケアマネ，介護系ケアマネの別の認識
- ・ その他

3 協議の進め方について

- (1) 連携ルール ～ 手引き，ガイドライン，フローチャート，マニュアル
- (2) 先進地事例（作業部会にて資料として参考配付予定）
 - ・ 福岡市 退院時連携の基本的な進め方の手引き
 - ・ 名古屋市における在宅医療・介護連携ガイドライン
 - ・ 在宅療養連携推進 よこすかエチケット集

○急変時対応分科会（連携ルール作業部会）で今後協議いただきたい事項

1 アンケート調査結果の概要

「急変時の対応について」

- (1) 急変時対応に係る連携体制のあり方
- (2) 各サービス事業所における急変時対応のルールづくり
- (3) 入院医療機関の急変時の受け入れ対応のあり方
- (4) 認知症への救急対応強化

2 アンケート自由記述について

(1) 具体的なコメント例

- ・ 2次輪番病院の入院不応需（軽症，入院適応外，認知症，理由不明その他）
- ・ 2次輪番病院の入院応需後の退院調整のあり方（短期間の入院の制約）
- ・ 急変時の受診手続（同意書・保証人等の強制，付添者の長時間の拘束，接遇，対応不備，医療機関内の連携不足）
- ・ かかりつけ病院・かかりつけ診療所の不応需（診療科専門外，夜間・休日不対応，急変時の2次救急利用指示，理由不明その他）
- ・ 急変時に係る介護関係者の医療知識・スキル不足
- ・ 急変時の患者の情報不足，急変時の状況把握困難
- ・ 急変時の医療・介護関係者の連絡体制
- ・ 認知症への対応
- ・ 救急体制（救急搬送の仕組み，救急隊員の接遇）

3 協議の進め方について

(1) 連携ルール

- ・ 急変時の対応ルール
（現在取り組まれている，在宅における急変時対応の仕組みを踏まえて対応することが必要。）
- ・ 後方支援体制の構築と仕組み作り

○情報共有ツール作業部会で今後協議いただきたい事項

※ 1, 2は前回協議会資料の一部再掲

1 前回協議会で提供された情報共有ツールの種類

- (1) 独自作成様式
- (2) 国が示している診療報酬や介護報酬の請求事務関係書類と全部または一部が同様の様式
- (3) 各団体の上部団体が示しているひな形の様式
- (4) 連絡票様式

2 前回協議会の検討の視点

- (1) 情報共有ツールとしての検討が必要な様式と、必要が無い様式の抽出
 - ・ 請求事務関係書類様式や既存の様式で問題が無い
 - ・ 各機関の機能が違うので、様式が多様化するの仕方が無い など
- (2) 情報共有ツールとして利用されている請求事務関係書類の様式のアレンジの必要性の検討
 - ・ 多職種連携に必要な記載項目の追加 など
- (3) 請求事務関係書類とは別個に、独自に作成した方が有効な様式の検討
 - ・ 2度手間の書類作成負担の問題 など
- (4) どの機関・事業所・施設の間の連携を支援するための情報共有ツールか
 - ・ 全ての医療機関・介護サービス事業所が共通に必要な情報を網羅した万能な情報共有ツールの作成は、現実的に困難 など
- (5) 情報共有ツールの利活用方法、手順の検討
 - ・ 手引き等の作成 など
- (6) デジタル化された情報共有ツールと、アナログのペーパーベースの情報共有ツールの関係や整合性
 - ・ 情報共有ツールの利用は、推奨か義務か など

3 協議の進め方について

- (1) 既存のツールの使用方法や使用場面などの更なる分析
- (2) 検討する情報共有ツールの優先順位 ～ 2分科会(退院支援, 急変時の対応)
- (3) 基本ツールと応用ツール
- (4) ICTについて

○多職種連携研修作業部会で今後協議いただきたい事項

1 昨年度の研修の分析結果（H28. 2. 20(土)14:00～開催）

(1) 退院支援に関する課題

- ・ 認識の一致・連携
- ・ 治療経過などの情報共有
- ・ 退院支援への理解・協力
- ・ 退院後の受入体制，対応
- ・ 病院対応の格差
- ・ 相談窓口の明確化
- ・ 在宅ケアへの理解
- ・ 介護分野の知識

など

(2) 今後実施して欲しい研修内容

- ・ 相互理解
- ・ 入退院支援
- ・ 連携
- ・ 専門性の向上（用語など）
- ・ 利用者家族への支援
- ・ 情報共有ルール・ツール・様式等の統一化
- ・ 在宅ケア
- ・ 介護サービス・行政サービス

など

(3) 研修終了後のアンケート（主な項目）

- | | | |
|--------------------|--------|-----|
| ・ 開催日時（土曜日の午後）について | 良い | 76% |
| ・ 理解は深まったか | 深まった | 85% |
| ・ このような研修を続けて欲しい？ | 続けて欲しい | 93% |

2 協議の進め方について

- ・ 研修内容
- ・ 開催スケジュール
- ・ 参集職種
- ・ 人数規模
- ・ 研修スタッフ役割分担

函館市医療・介護連携推進協議会 作業部会 団体所属一覧

資料2

(顧問)

(敬称略)

分野	所属団体	氏名	連携ルール作業部会		情報共有 ツール 作業部会	多職種連 携研修 作業部会	備考
			退院支援 分科会	急変時対 応分科会			
医療	公益社団法人 函館市医師会	本間 哲		○			
	一般社団法人 函館歯科医師会	田嶋 久士					
	一般社団法人 函館薬剤師会	熊川 雅樹					
行政	函館市病院局	吉川 修身					

(委員) ※★部会長および副部会長 ●分科会長 ○部会メンバー
委員は極力いずれかの部会に所属するか、所属団体から、適任者の推薦を可とする。

医療	公益社団法人 函館市医師会	恩村 宏樹	★部会長				
	※委員以外 函館市医師会 (急変時対応関連医療機関 ※調整中)			○			
	函館市医師会 (医師会病院事務部等)		○	○	○	○	幹事
	一般社団法人 函館歯科医師会	岩井 祐司	○		○	○	
	一般社団法人 函館薬剤師会	水越 英通	○		○	○	
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	高橋 純子	○	○	○	○	
	道南在宅ケア研究会	岡田 晋吾	○		○	○	
	函館地域医療連携実務者協議会	亀谷 博志	★副部会長		★部会長	○	
	※委員以外 函館地域医療連携実務者協議会	高柳 靖	●分科会長				
	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	酒本 清一	○	○	○	★部会長	
介護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	中村 清秋	○	○	○	★副部会長	
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	松野 陽	○	○	★副部会長	○	
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	寺田 昌弘	○		○	○	
	道南訪問看護ステーション連絡協議会	保坂 明美	★副部会長		○	○	
	道南地区老人福祉施設協議会	齋藤 禎史	○	○	○	○	
行政	※委員以外 函館市消防本部			○			
医療	※委員以外 北海道柔道整復師会函館ブロック				○		
医療	※委員以外 函館鍼灸マッサージ師連携会				○		

(部会事務局)

函館市保健福祉部

函館市医療・介護連携推進協議会 作業部会名簿

資料2-2:追加資料

(顧問)

(敬称略)

分野	所属団体	連携ルール作業部会		情報共有 ツール 作業部会	多職種連携 研修 作業部会	備考
		退院支援 分科会	急変時対応 分科会			
医療	公益社団法人 函館市医師会		本間 哲			

(委員) ※★…部会長および副部会長 ●…分科会長 □…左記以外の委員 印なし…委員が推薦した方

医療	公益社団法人 函館市医師会	★部会長	恩村 宏樹			
	※委員以外 函館市医師会 (急変時対応関連医療機関 ※調整中)		●恩村 宏樹			
	函館市医師会 (医師会病院事務部等)	○	○	○	○	幹事
	一般社団法人 函館歯科医師会	川村 曜補		四條 伸之	□岩井 祐司	
	一般社団法人 函館薬剤師会	高橋 正治郎		星野 志津代	□水越 英通	
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	水澤 里美	三橋 鈴代	加藤 由美子	北村 和宏	委員 高橋純子
	道南在宅ケア研究会	尾関 幸子 (鈴木)		□岡田 晋吾	石川 静	
	函館地域医療連携実務者協議会	★副部会長	亀谷 博志 大島 俊宣	★部会長 亀谷 博志	船山 俊介	
	※委員以外 函館地域医療連携実務者協議会	●高柳 靖				
一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	調整中	調整中	調整中	★部会長 酒本 清一		
介護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	高橋 淳史	宮城 智美	横山 文昭	★副部会長 中村 清秋	
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	福島 久美子	林 珠樹	★副部会長 松野 陽	京谷 佳子	
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	岩崎 祐介		吉荒 龍哉	□寺田 昌弘	
	道南訪問看護ステーション連絡協議会	★副部会長 高橋 陽子	保坂 明美 寺尾 千浦	□保坂 明美	高畑 智子	
	道南地区老人福祉施設協議会	調整中	調整中		□齋藤 禎史	
行政	※委員以外 函館市消防本部		○			
医療	※委員以外 北海道柔道整復師会函館ブロック				○	
医療	※委員以外 函館鍼灸マッサージ師連携会				○	

在宅医療・介護連携推進事業の推進 (実施状況及び今後の施策等)について

厚生労働省老健局老人保健課

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と介護が一体的に提供される体制の構築を目指した取組を行う。



実施内容・方法

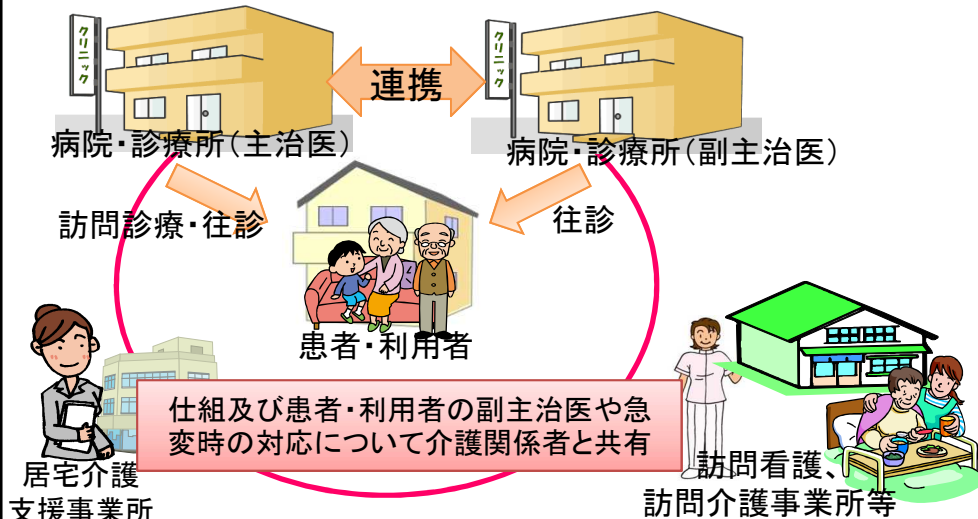
- (1) 地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と介護が提供される体制構築のために必要な取組を検討する。
- (2) 検討した必要な取組について、地域の医療・介護関係者の理解と協力を得た上で、実現に向けた着実な進捗管理に努める。

留意事項

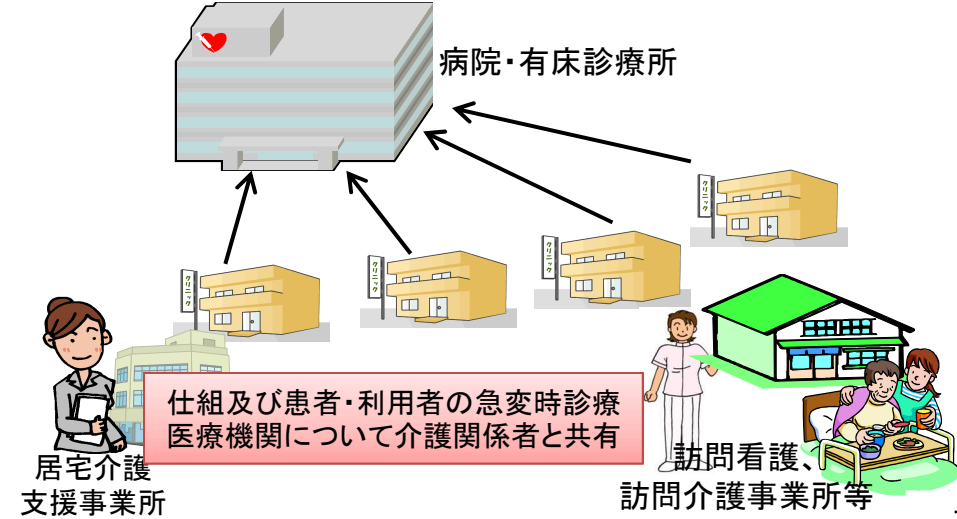
- (1) 地域医療の状況等に関する理解が必要なこと、訪問診療・往診を行う医療機関の協力が求められること等から、取組の検討・実施に当たっては郡市区医師会を始めとした関係団体等に委託して差し支えない。
- (2) 切れ目なく在宅医療と介護を提供するための仕組みは、地域の医療・介護の資源状況等によって異なることから、取組例に限らず、地域の実情に応じて構築することが重要である。

取組例

(取組例) 主治医・副主治医制の導入



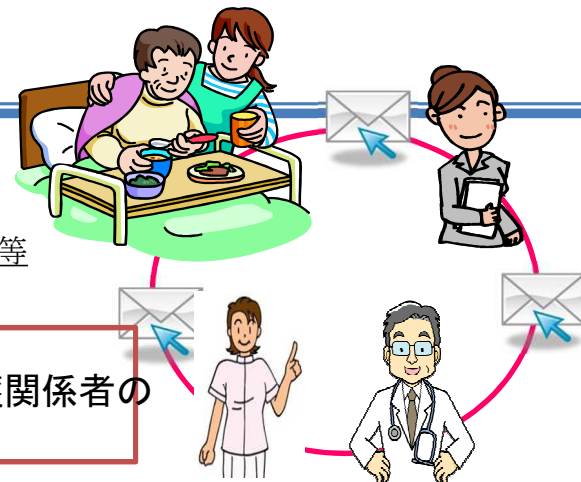
(取組例) 在宅療養中の患者・利用者についての急変時診療医療機関の確保



(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

情報共有の手順等を含めた情報共有ツールを整備し、地域の医療・介護関係者間の情報共有の支援を行う。

※情報共有ツール:情報共有を目的として使用される、情報共有シート、連絡帳、地域連携クリティカルパス等



ポイント

- 既存の情報共有ツールの改善や、情報共有ツールを新たに作成する場合は、医療・介護関係者の双方が利用しやすい様式等になるよう考慮する。

実施内容・方法

1. 情報共有ツールの作成

- (1) 地域における既存の情報共有ツールとその活用状況を把握し、その改善等や新たな情報共有ツール作成の必要性について、関係する医療機関や介護サービス事業者の代表、情報共有の有識者等からなるWGを設置して検討(※地域の実情に応じて、既存の情報共有ツールの改善でも可)。
- (2) 作成又は改善を行う場合、WGにおいて、情報共有の方法(連絡帳、連絡シート、地域連携クリティカルパス、ファックス、電子メール等)や内容等を検討し、情報共有ツールの様式、使用方法、活用・手順等を定めた手引き(利用者の個人情報の取り扱いを含む)等を策定。
※ 実際に情報共有ツールを使用する地域の医療・介護関係者等の意見を十分に踏まえること。

2. 情報共有ツールの導入支援と活用状況の把握

- (1) 地域の医療・介護関係者を対象に、使用方法の説明等、情報共有ツールの導入を支援するための研修会を開催や、情報共有ツールの使用方法や情報共有の手順等を定めた手引き等を配布。
- (2) アンケート調査、ヒアリング等によって、情報共有ツールの活用状況とその効果、うまく活用できた事例やできなかった事例等について把握し、改善すべき点がないかなどについて検討。
- (3) 必要に応じて、情報共有ツールの内容や手引き等を改定し、関係者に対し、十分周知。

留意事項

- 職員の交代時期を考慮し、例えば、定期的に医療機関等や介護事業所で実際に従事する職員に対して手引きを周知するよう配慮する。

(カ) 医療・介護関係者の研修



地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、他職種でのグループワーク等の研修を行う。
また、必要に応じて、地域の医療関係者に介護に関する研修会の開催、介護関係者に医療に関する研修会の開催等の研修を行う。

実施内容・方法

1. 多職種連携についてのグループワーク

- (1) 研修の目標、内容等を含む実施計画案を作成し、医療・介護関係者等の理解と協力を得る。
- (2) 医療・介護関係者等を対象にグループワーク等の多職種研修を開催する。

＜研修例＞ 医療機関・介護事業所等の地域における役割・特徴等の共有、(イ)で抽出した地域課題の優先度を踏まえたテーマや事例等に対し、グループで意見交換等を行う 等

2. 医療・介護関係者に対する研修

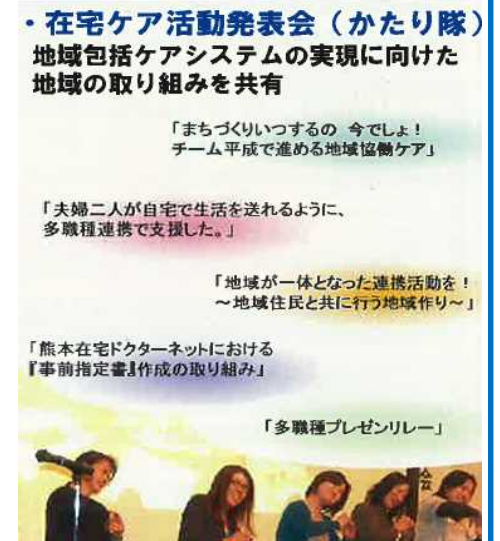
- (1) 既存の研修の内容・回数等を確認し、新たな研修の必要性について検討。
- (2) 新たに研修する場合は、研修内容、目標等を含む実施計画を作成と、既存の研修との位置づけを整理。
- (3) 参加者に対するアンケートやヒアリング等を実施し、研修の評価・改善につなげる。

＜医療関係者に対する研修の例＞

介護保険で提供されるサービスの種類と内容、
ケアマネジャーの業務、
地域包括ケアシステム構築を推進するための取組
(地域ケア会議等)等に関する研修

＜介護関係者に対する研修の例＞

医療機関の現状等、予防医学や栄養管理の考え方、
在宅医療をうける利用者・患者に必要な医療処置や療養上の
注意点等に関する研修



出典：「地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療・介護連携の推進における、実践的な市町村支援ツールの作成に関する調査研究事業」(熊本市提供資料)
(平成26年度厚生労働省老人保健健康増進等事業 野村総合研究所)

■ 函館市医療・介護連携推進協議会・部会 協議スケジュール

資料 4

協議事項

連携推進協議会の開催		平成28年度										平成29年度		平成30年度
		第5回 5月	6月	7月	8月	9月	第6回 10月	11月	12月	1月	第7回 2月	3月	随時開催 協議会終了 4月	(仮) 運営委員会の設置
在宅医療・介護サービスの情報共有による相談体制の構築														
1	ア 地域の医療・介護の資源の把握													
	イ 医療・介護関係者の情報共有の支援													
	ウ 在宅医療・介護連携に関する相談支援													
	エ 地域住民への普及啓発													
在宅医療・介護サービス提供体制の構築														
2	ア 医療・介護関係者の研修													
	イ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築													
	ウ 関係市町との連携													

注) 〰〰〰〰〰〰〰 ・・・協議期間、協議内容を示す。 ■ ・・・具体的な取組の実施を示す(協議会の協議状況により実施時期は柔軟に対応する)。 ● ・・・協議事項 ○ ・・・実施事項